



民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2014年(平成26年)6月15日 第73号



ひたちなか海浜公園のネモフィラ (ひたちなか市)

鶴見編集委員 撮影

目次

- 会長就任あいさつ…………… 2
- 副会長就任あいさつ…………… 2・3
- 茨城県保健福祉部長あいさつ…………… 3
- 平成26年度事業計画・正味財産増減
計算書…………… 4
- 平成25年度事業報告・正味財産増減
計算書…………… 5
- 地区民児協だより
 - ・茨城町…………… 6
 - ・坂東市…………… 6
- 役員紹介…………… 7
- 部会・専門委員会…………… 7
- 事務局だより…………… 8
- 編集後記…………… 8

広げよう 地域に根ざした 思いやり

会長就任にあたって



県民児協会長 鯨井 登美子

昨年12月の一斉改選にともない、県民児協理事会のご推薦により、会長に就任いたしました鯨井でございます。

始めに、任期満了にともないご退任されました高木会長をはじめ諸先輩方の永年にわたるご尽力とご苦勞に対しまして、深い敬意を表するとともに心からの感謝を申し上げます。

微力な私ではございますが、副会長並びに理事をはじめ委員の皆様や事務局のご支援とご協力を賜り、県民児協の発展のために一意専心努めてまいる所存でございます。委員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今、複雑かつ多様な課題を抱える地域社会では、住民に最も近い地域福祉の担い手として活動している私たち民生委員・児童委員に

対する期待が、ますます高まっております。

私たちには、日々の訪問や見守り活動、相談活動に誠実に取り組み、よき相談相手として丁寧に寄り添い、支援を必要としている人の問題を早期に受け止め、適切に行政・関係機関へとつないでいく大切な役割があります。

県民児協といたしましても、委員の皆様がこの役割を充分に果たせるように、必要な情報提供や研修等の充実に努め、問題を共有することにより、活動しやすい環境の改善に努めてまいりたいと存じます。

結びに、今後とも県民児協事業へのご協力をお願い申し上げますとともに、皆様ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

副会長就任あいさつ



県民児協副会長 宮島 孝明

昨年12月の民生委員・児童委員の一斉改選にともない、県民児協理事会のご推挙により副会長を拝命し、身に余る光栄と感謝し、職務の重大さを痛感いたしております。

近年、急速な少子高齢化の進展、核家族化など、地域を取り巻く環境が大きく変化している現在、私たち民生委員・児童委員の地域福祉に対する活動が、一層複雑、多様化しております。昔は「向こう三軒両隣」ということで、地域で支え、助けあう習慣がありました。

今日においては「自助」「共助」「公助」とそれぞれの役割の中でお互いが連携し、地域ぐるみの福祉推進の重要性を再確認することが、私どもの果たすべき姿と思っております。

私は日頃から「民生委員児童委員信条」を、会議の冒頭に「わたくしたちは〇〇〇に努めます。」と唱和します。さらにもう一つ「感謝の気持ちが欲しいなあ」と感じております。先輩委員、同僚の皆様、地域の皆様や事務局の方々に感謝、そして、私たちを陰陽に支えてくれる家族に一番の感謝をす

る気持ちを忘れてはいけません。この信条の精神や感謝の思いやりが「地域の絆を育み、誰もが安心して暮らせる町づくり」に現実味をおび、期待もされるようになりますと確信しております。

副会長就任にあたり、皆様方さらなるご支援、ご指導をお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

副会長就任あいさつ



県民児協副会長 佐野道夫

昨年12月の民生委員・児童委員の一斉改選がありました。2月の県民児協理事会において副会長のご推挙をいただき、身に余る光栄と存じます。微力・非才の私には責務の重大さを痛感しております。鯨井会長のご指導のもと、理事を始め委員の皆様方のご支援とご協力を賜り、職務を全うするため、誠心誠意努力いたす所存でございます。

さて、近年、社会情勢の変化により、これまでの福祉制度では対応が難しいさまざまな生活課題が浮き彫りになってきています。

また、種々の問題に対応する我々の行動も多岐にわたることが求められますとともに、多くの問

題が生じています。こうした状況の中で、地域でのつながりと人間関係の希薄化が進み、子育ての負担感や不安感の増大、児童虐待の増加、さらには、学校でのいじめの問題などを背景に、民生委員・児童委員の役割は年々大きくなってまいります。

民生委員・児童委員一人ひとりが誇りと使命感を持って、地域住民との信頼関係を築くとともに、地域の各種関係団体の方々と協力して活動することが求められます。委員の皆様には、今後とも地域住民の皆様が安心して暮らせる地域づくりに向け、一層のご活躍をご祈念申し上げ、ごあいさついたします。

「安心して健やかに暮らせる」「住みよいいばらきづくり」をめざして



茨城県保健福祉部長 森戸久雄

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から県民に対する様々な相談や援助活動を通して、地域福祉の向上に多大なる御支援と御協力を賜っており厚く御礼申し上げます。

さて、近年の少子化に伴う本格的な人口減少社会の到来や高齢化の急速な進展など、社会情勢が大きく変化しており、地域社会においては、地域コミュニティの希薄化、高齢者の孤立死、児童虐待問題など、生活課題はますます複雑・多様化しています。

このような背景を踏まえ、県といたしましては、保健・福祉・医療の充実に努め、誰もが安心して健やかに暮らすことができる「住みよいいばらき」づくりのための様々な施策に取り組んでいるところであります。

まず、少子化対策につきまして、全県的な婚活支援活動を展開するとともに、保育所整備による待機児童対策をはじめ、子どもを

安心して生み育てやすい環境づくりを推進してまいります。

また、高齢者対策につきましては、「第5期いばらき高齢者プラン21」に基づき、高齢者の介護予防と健康・生きがいづくりを推進していくほか、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を図ってまいります。

こうした施策の推進にあたっては、住民の身近なところで問題を発見し、関係機関・団体等との連携を図りながら、地域住民の立場に立って相談、援助を行う皆様方のお力添えが不可欠であることは言うまでもございません。

皆様におかれましては、地域福祉推進の担い手として、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度 県民児協事業計画・正味財産増減計算書

運営方針

少子・高齢化の進展や人口減少社会の到来、生活のスタイルや価値観の変化など、人間関係が一層希薄になっており、また、厳しい経済・社会情勢を背景とし、地域における福祉課題が複雑・多様化、深刻化しています。

また、生活保護受給者の増大や高齢者等の孤立死、悪質商法の被害の増大、家庭内でのDVや児童虐待の増大、学校でのいじめなど社会問題はますます深刻化しています。

このような状況の中、将来にわたって安全で安心な生活を送るためには、社会保障・社会福祉制度の充実とあわせて、地域の住民、様々な機関・団体等が連携して支え合う仕組みづくりや、見守りネットワークの構築が求められています。

これまでわたしたち民生委員児童委員は、常に地域住民の立場に立って課題を抱える人々を励まし、きめ細かな相談・支援に取り組み、地域の頼り人として活動して

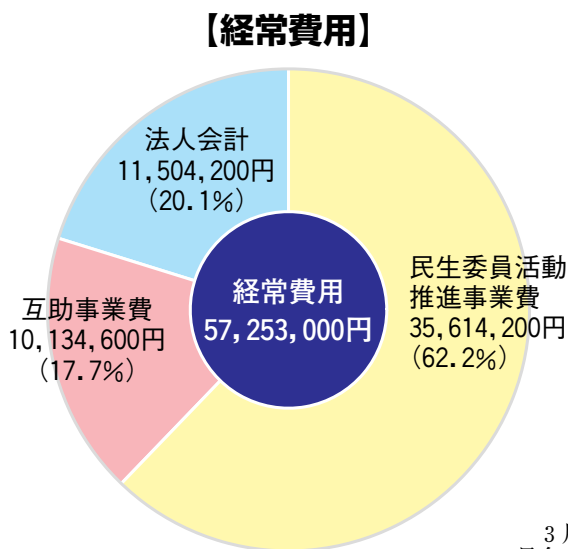
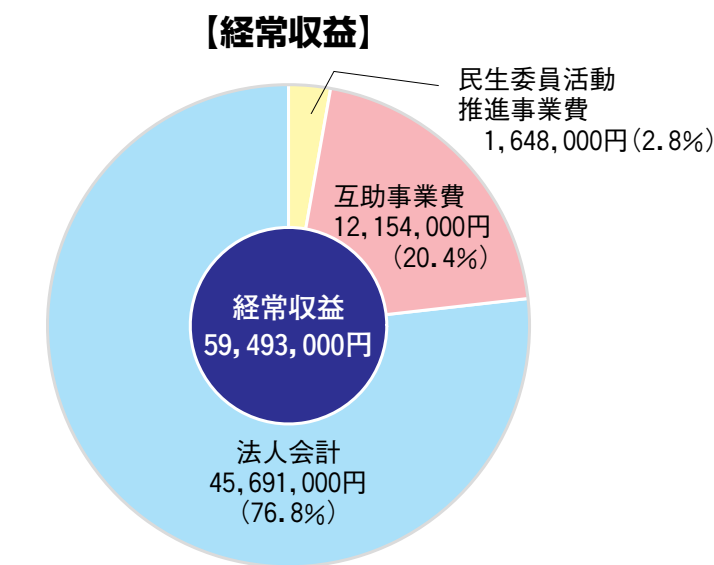
きましたが、今、その使命と役割は、ますます重要になっています。

わたしたちは、「民生委員制度100周年に向けた活動強化方策」のもと、全民児連との連携・協働を通じ、日常的な見守り活動等を通して、これからも地域に密着した活動をすすめて、地域福祉の向上に貢献していきます。

本年度重点目標

- 1 民生委員制度創設100周年に向けた「広げよう 地域に根ざした 思いやり」行動宣言のもと、常に住民の立場にたつて地域福祉活動の推進につとめる。
- 2 児童、高齢者、障がい者など社会的弱者や生活困難家庭を常に見守り、関係者との連携・協働を強化して、支援活動の推進につとめる。
- 3 東日本大震災等の体験を教訓に、災害時要援護者支援活動の円滑な推進につとめる。

平成26年度正味財産増減計算書



月別事業計画

事項 月	県民児協
4	・民児協いばらき編集委員会 (10日) ・正副会長及び総務委員会合同会議(15日) ・主任児童委員委員長会 (22日)
5	・監事会 (13日) ・理事会 (15日) ・民児協いばらき編集委員会 (15日・26日) ・児童福祉部会 (20日) ・評議員会 (30日)
6	・互助事業運営委員会 (3日) ・民児協いばらき編集委員会 (10日) ・民児協いばらき (73号) 発行 (15日) ・市町村民生委員児童委員協議会長・副会長合同研究協議会 県北・県央・鹿行地域(12~13日 大洗町) 県南・県西地域 (26~27日 大洗町)
7	・市町村民生委員児童委員教室 県北・県央・鹿行地域(10~11日 大洗町) 県南・県西地域 (17~18日 大洗町) ・主任児童委員研修会 (24日 水戸市)
8	・正副会長会議 ・総務委員会
9	・互助事業運営委員会 ・全体研修会(18日 茨城県立県民文化センター) ・理事会
11	・民児協いばらき編集委員会 ・第33回茨城県民生委員児童委員大会 (6日 茨城県立県民文化センター)
12	・民児協いばらき編集委員会 ・互助事業運営委員会
1	・民児協いばらき (74号) 発行
3	・正副会長及び総務委員会合同会議 ・理事会 ・評議員会 ・互助事業運営委員会

3月に開催された平成26年度第6回理事会(13日)及び第3回評議員会(28日)において、平成26年度の事業計画と正味財産増減計算書が承認されました。

平成25年度 事業報告・正味財産増減計算書

事業報告

1 協議会の運営

- 正副会長会議 (9回)
- 理事会 (6回)
- 監事会 (1回)
- 評議員会 (3回)
- 部会、専門委員会
 - ・総務委員会 (3回)
 - ・編集委員会 (8回)
 - ・児童福祉部会 (1回)
 - ・主任児童委員連絡会 (3回)

2 研究協議会等の開催

- 市町村民生委員児童委員協議会会長・副会長研修 (2会場)
- 市町村民生委員児童委員教室 (2会場)
- 民生委員・児童委員全体研修会 (1会場)
- 主任児童委員研修会 (1会場)

3 全国会議等への参加

- 第82回全国民生委員児童委員大会
- 第73回関東ブロック民生委員児童委員活動協議会

- 民生委員児童委員等を対象とする相談技法研修会
- 民生委員・児童委員リーダー研修会
- 全国主任児童委員大会

4 市町村民生委員活動の推進

- 指定民児協
 - ・水戸市見和民生委員児童委員協議会
 - ・潮来市民生委員児童委員協議会
 - ・つくばみらい市伊奈地区民生委員児童委員協議会
 - ・境町民生委員児童委員協議会

5 茨城県民生委員児童委員大会

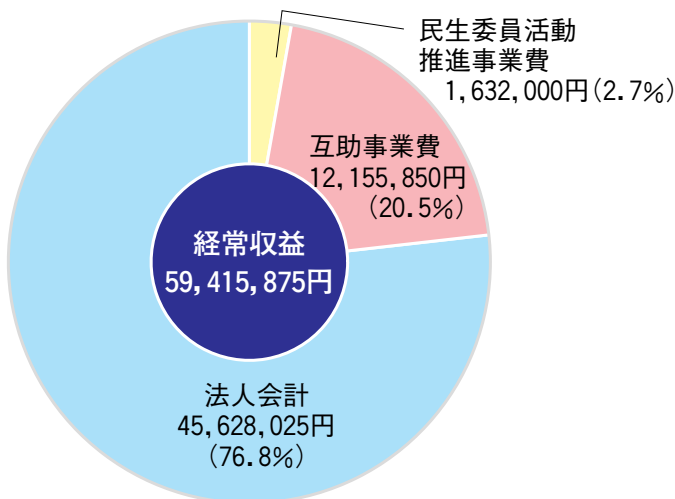
- 第32回茨城県民生委員児童委員大会 (1会場)

6 その他の主な事業

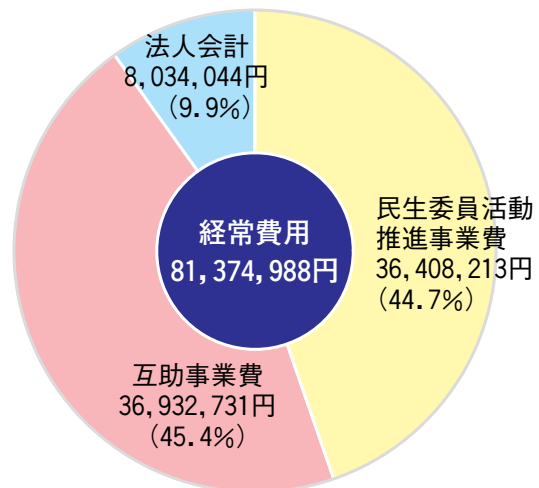
- 「民生委員児童委員の日活動強化週間」の取り組み強化 (5月12日～18日)
- 情報の提供
 - ・民児協いばらきの発行 (2回)
- 互助事業の実施
 - ・全国民生委員児童委員互助事業及び県互助事業の実施

平成25年度正味財産増減計算書

【経常収益】



【経常費用】



5月に開催された平成26年度第1回理事会(15日)及び第1回評議員会(30日)において、平成25年度の事業報告及び正味財産増減計算書が承認されました。

地区民児協だより

茨城町

茨城町民児協の活動について

茨城町民児協会長 松浦 孝之

茨城県のほぼ中央に位置する茨城町は、人口33,925人、高齢化率は27.8%で、基幹産業は農業であり、県内でも有数の農業生産を有しております。

連合協議会の会員は、60名で構成され、民生委員・児童委員が相互に学び合いながら研修を積み重ねることにより、資質の向上に努めることを目的に、毎月定例会を開催しております。

また、民生委員・児童委員の職務遂行に必要な知識技術の習得向上を図るため、年4回「生活保護・障害福祉・児童福祉・老人福祉・母子福祉」の事例検討でのグループワークを行っています。

さらに、小中学校との連携と情報交換のための「地区委員会」の開催、及び県内外研修等の活動をしてまいります。

本町においては、ひとり暮らしの高齢者や高齢世帯の方が、この10年で約2倍となり、高齢者への声掛けや見守り訪問も民生委員・児童委員の主要な活動となっております。

また、茨城町民生委員・児童委員は、日本赤十字奉仕団も兼ねており、毎年9月の定例会において、日本赤十字社茨城県支部や茨城町消防本部の指導により、奉仕活動の基礎的な学習、救急法の実技や災害時の非常食炊き出し体験等を研修し、「茨城町健康まつり」において、非常食の試食づくりも行いました。

今後も、委員相互の交流を深めながら、地域に根ざした活動を進めていきたいと考えております。



坂東市

坂東市連合民児協の活動について

坂東市連合民児協会長 倉持 嘉男

坂東市連合民児協は、猿島地区民児協23名、岩井地区民児協66名の合計2地区89名で構成されています。

地区民児協同士の連携強化のため、定例会は年5回程度合同で開催し、情報の共有と意思疎通を図っております。

各地区民児協では、市社会福祉協議会支部の福祉推進員として「きずな声かけ事業」を展開し、独居高齢者等のお宅に友愛訪問を行ったり、声かけ運動を行ったりしています。

また、市介護福祉課からの依頼により、独居高齢者の方に救急医療情報キットを配布しています。

救急医療情報キットとは、かかりつけ医や緊急連絡先等の緊急時に必要な情報を記入した用紙を冷蔵庫に保管しておく筒状の容器で、駆けつけた救急隊が本人の医療情報を確認できるため、応急処置や救急搬送を速やかに行うことができます。

また、委員としての資質向上と委員相互の連携強化を図るため、生活保護、身体障害者福祉、知的障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、母子・寡婦福祉の6つの事項別委員会に分け、それぞれの事項に関わる施設の視察研修や制度についての勉強会等を行い切磋琢磨しています。

さらに、民生委員の知名度の向上を図り、もって地域で困っている方が相談しやすい環境を作るため、市や社会福祉協議会等が主催する行事に参加し、市民の方と触れ合いながら委員同士の交流を深めています。

これからも委員相互の連携を深めながら、地域福祉の増進に努めていきたいと考えています。



役員紹介

民生委員児童委員の一斉改選により任期満了となった役員の改選が行われ、平成26年2月開催の理事会及び評議員会において、次の方々が選任されました。

●役員

- 会長 鯨井登美子(下妻市)
- 副会長 竹内 昌信(小美玉市)
- 宮島 孝明(つくばみらい市)
- 理事 佐野 道夫(土浦市)
- 大内 元一(水戸市)
- 平 圭夫(日立市)
- 咩野 文雄(常陸太田市)
- 佐藤 肇(笠間市)
- 慶野多美子(つくば市)
- 神保 忠正(ひたちなか市)
- 植田 義継(潮来市)
- 鶴見 重夫(筑西市)
- 倉持 嘉男(坂東市)
- 市村 捷二(北相馬郡)
- 寺門 利幸(県福祉指導課長)
- 小林 俊秀
- 岩崎 昭一(稲敷市)
- 今郡 利夫(神栖市)
- 中野 篤(久慈郡)

●評議員

- [水戸市] 富田たま子 矢田部秀夫
- 福田紀二男
- [日立市] 井上 充宏 宇佐美吉郎
- [土浦市] 清水 愛子 廣末 健一
- [古河市] 相葉 光輝
- [石岡市] 藤波 克己
- [結城市] 鈴木 直美
- [龍ヶ崎市] 半田 健市
- [下妻市] 落合繁治郎
- [常総市] 若月 博
- [常陸太田市] 和田 行雄
- [高萩市] 三國 省治
- [北茨城市] 武田 藤夫
- [笠間市] 村上 一郎
- [取手市] 内藤 義彦
- [牛久市] 唯根 利夫
- [つくば市] 関口 光治 中山 勇
- [ひたちなか市] 安 正機 横須賀長二
- [鹿嶋市] 大槻 光夫
- [潮来市] 荒原 茂
- [守谷市] 村田 昌
- [常陸大宮市] 梶 文雄
- [那珂市] 椎名 猛博
- [筑西市] 遊佐 行弘
- [坂東市] 池田 正彦
- [稲敷市] 黒田 伸治
- [かすみがうら市] 久保田敏雄
- [桜川市] 加藤 武臣
- [神栖市] 原 直俊

部会・専門委員会

- [行方市] 栗又 正美
- [鉾田市] 北澤 洋
- [つくばみらい市] 安田 宰
- [小美玉市] 石橋 吉生
- [東茨城郡] 小野瀬 優
- [那珂郡] 河野 進
- [久慈郡] 根本 和一
- [稲敷郡] 伊藤 清悦
- [結城郡] 青木 忠次
- [猿島郡] 篠崎 悦子
- [北相馬郡] 中野 傳功

●総務委員会

◎は委員長及び副会長
○は副委員長及び副副会長

- 委員 ◎市村 捷二
- 大内 元一
- 平 圭夫
- 慶野多美子
- 植田 義継
- 倉持 嘉男

●互助事業運営委員会

- 委員 ◎神保 忠正
- 半田 健市
- 清水 愛子
- 咩野 文雄

●編集委員会

- 委員 ◎鶴見 重夫
- 矢田部秀夫
- 井上 充宏
- 中山 勇
- 竹内 昌信
- 市村 捷二

●児童福祉部会

- 委員 ◎佐藤 肇
- 小室美智子
- 若月 博
- 内藤 義彦
- 梶 文雄
- 北澤 洋
- 伊藤 清悦
- 庄司 京子
- 染谷 法子
- 山本みね子
- 平沼 正美
- 関根 三郎

●茨城県社会福祉協議会生活福祉資金運営委員会

- 委員 ◎大内 元一
- 安 正機
- 鶴見 重夫

事務局だより

● 県保健福祉部の人事異動 民生委員・児童委員関係

(平成26年4月1日)(敬称略)

- 部長 森戸 久雄(新任)
- 次長 近藤 慶一(新任)
- 参事兼厚生総務課長 嶋田 一郎(新任)
- 福祉指導課長 寺門 利幸(留任)
- 子ども家庭課長 小澤 正哉(留任)
- 長寿福祉課長 荒井 正徳(新任)
- 障害福祉課長 桜井 正樹(留任)
- 福祉相談センター長 坂本 達保(留任)
- 中央児童相談所長 白井 正美(新任)
- 土浦児童相談所長 岡田 崇弘(新任)
- 筑西児童相談所長 坂場 洋一(新任)

● お知らせ

○ 県民児協主催の研修会

及び県大会予定

○ 市町村民生委員児童委員協議会

会長・副会長合同研修協議会

【県北・県央・鹿行地域】

6月12日(木)～13日(金)

大洗シーサイドホテル

【県南・県西地域】

6月26日(木)～27日(金)

大洗シーサイドホテル

○ 市町村民生委員児童委員教室

【県北・県央・鹿行地域】

7月10日(木)～11日(金)

大洗シーサイドホテル

【県南・県西地域】

7月17日(木)～18日(金)

大洗シーサイドホテル

○ 主任児童委員研修会

【県内全域】

7月24日(木)

県総合福祉会館

(コミュニティホール)

○ 民生委員児童委員全体研修会

【県内全域】

9月18日(木)

県立県民文化センター

○ 第33回茨城県民生委員児童委員

大会

11月6日(木)

県立県民文化センター

保険制度スタート

民生委員・児童委員
活動保険について

民生委員・児童委員の皆様が安心して日々の活動ができるよう、全国民生委員児童委員連合会が契約者となり、保険制度が4月1日からスタートしました。

平成26年4月1日以降で、民生委員・児童委員として委嘱を受けている期間の事故が対象となります。保障の内容や事故が発生した場合の対応方法などについては、市町村民児協に「民生委員・児童委員活動保険について」の冊子を配布していますので、参考にして下さい。

委員活動中の方が一の事故等によりケガをされた場合など、保険金・見舞金請求に関する手続き等のご照会は、次までご連絡ください。

日本興亜損害保険(株)

☎ 03-3593-6245

※引受幹事会社

編集後記

過日、91歳の男性が徘徊中に列車にはねられて亡くなり「ダイヤに遅れがでたから、家族は補償せよ。」JR東海の請求に対し、裁判所が高齢の妻の監督責任を認めたニュースがあった。負いきれない責任を家族が負わなければならない現実である。

このようなことが起こらないようにするには閉じ込めるしかない。それでは福祉とは言えないのではないかと、社会の仕組みづくりが早急に必要であると感じる。

改選にともしない新しい体制で臨むことになりましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

編集委員長 鶴見 重夫

発行人

一般財団法人
茨城県民生委員児童委員協議会
会長 鯨井 登美子

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

URL: <http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>

E-mail: iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp